

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		おおすみ児童発達支援センター 第2放課後等ディサービス					公表日	令和8年2月27日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		部屋が3か所あり、活動に合わせて使い分けている。	子ども達が外で思いっきり体を動かせる場所がないので、来年度は隣の空き地を庭として使えるように交渉していく。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		子どもの特性に合わせて、職員が一人つけるような人数を確保している。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		毎日掃除を行い、綺麗を保っている。定期的に消毒もして、感染予防にも努めている。	子どもたちが使えるものは、子供達が自分たちで、自由に取って遊んだり片付けたりしていけるようにしていきたい。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		自由に行き来出来るようにしている。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	2	課題評価や支援会議等もみんなで行うようにしている。	時間が合わない職員や休みの職員にも、後日きちんと報告を行っていく。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		評価表の結果を職員で確認し、改善できる所は改善するように努めている。	家族会を行うときに説明を行い、指摘を受けたところは改善していきたい。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	定期的に話し合いを行い、支援員が意見を言えるような環境を整えている。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7			年1回は第三者評価を行うようにする。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		職員会議時に研修を取り入れたり、外部より講師を呼んで行動分析の勉強会を実施した。	今後も定期的に講師を呼んで勉強会を行って行く予定になっている。		
適切な支援の提...	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		支援員みんなで話し合い、プログラムを作成している。	年1回は支援員全員で見直しを行っていきけるようにする。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等ディサービス計画を作成しているか。	7					
	13	放課後等ディサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		支援員にも意見を聞きながら、作成するようにしている。			
	14	放課後等ディサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7					
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7					
	16	放課後等ディサービス計画には、放課後等ディサービスガイドラインの「放課後等ディサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7					
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		1ヶ月の集団活動のプログラムを立てており、子供達の状況に合わせて、臨機応変に対応している。			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		1ヶ月の集団活動のプログラムを立てており、子供達の状況に合わせて、臨機応変に対応している。	子どもたちが飽きないように色々なプログラムを作成しているが、新しい活動も今後取り入れていきたい。		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		集団活動をした後、個別活動で自分のしたい事を自分で選んで支援している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	1	本日の担当と話し、集団活動の内容を確認し、支援員全員で共有を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1	送迎以外の残った職員で、振り返りを行っている。送迎の職員等には次の日に共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		支援終了後に記録をし、子供達の状況等を話している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		6ヶ月に1回はモニタリングをし、見直しをするようにしている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		個別活動では、自分のしたい事を自分で決めて活動を行い、見守りを行いながら、出来ない所等を支援している。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		時間がある時には支援員も参加するようにしているが、基本は児発管が参加している。支援員にも意見を前もって聞くようにしている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		必要に応じて連携を行っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		学校より、年間の行事予定計画と、毎月の行事予定が送ってくるため、早帰り等の時刻をチェックしている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7		同じ法人の児童発達支援や保育園とは連携をとっている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7		同じ事業所の児童発達支援とは連携をとっているが、それ以外の所とは現在行っていない。	今後必要に応じて情報提供を行っていく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	3	地域の放課後等デイサービス事業所とは、ドッチボール大会や運動会などを行った。	今後も放デイの合同行事には参加して交流を深めていきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	2	鹿屋市の放デイ協議会に参加し、毎月スキルアップ研修を行っている。	今後も参加していきたい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		担当者会議等での内容はその都度確認し、現状を話をしたりしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	3		そういう研修がある時には家族にも情報共有し、支援員も参加していきたい。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		変更後がある時には、速やかに説明を行い、サインをもらっている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		家族からの相談がある時には話を聞いて、助言を行っている。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	5	家族参加の行事を入れているが、参加が少なく、保護者同士での交流という意味では行っていない。	早めめに案内を出したり、こういった行事なら参加していきたいかのアンケートを実施し、保護者同士での交流ができる場を増やしていけるようにしたい。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7		毎月便りを発行し、家族にはラインで送っている。それに土曜日や長期休みの行事等を入れている、	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	6	現在は地域住民との交流は行っていない。時々、地域を散歩して挨拶したり、クリーン作戦をするようにはしている。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		定期的に訓練や研修を行っている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		定期的に訓練や研修を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7		現在は定期的に服薬等を行っている子はいない。風邪等の薬を飲ませてほしい時は、事前にラインで知らせてもらうようにしている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	1	現在はアレルギーを持つ子はいない。	見学时や利用時に、アレルギーや食事に関することは必ず確認するようにしている。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		ヒヤリハットがあった時には、支援心同士で周知を行い、改善に向けた話し合いを行っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		定期的に研修を行っている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7		現在身体拘束を行っている人はいない。		